

# 長刀坂国有林について



平成21年5月9日

京都大阪森林管理事務所

写真: 広沢池から見た長刀坂国有林

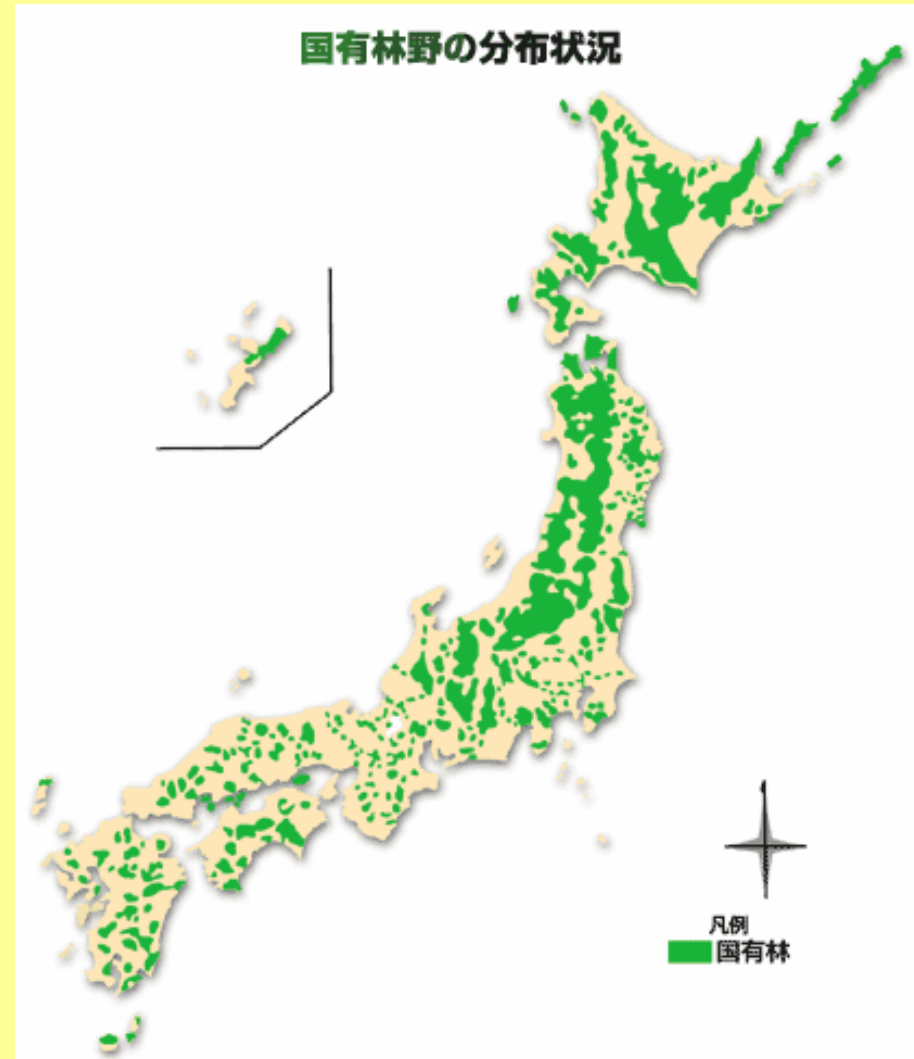
# 目 次

1. 国有林について
2. 京都大阪森林管理事務所について
3. 長刀坂国有林について
4. 「長刀坂モデルフォレスト」の設定

# 1. 国有林について

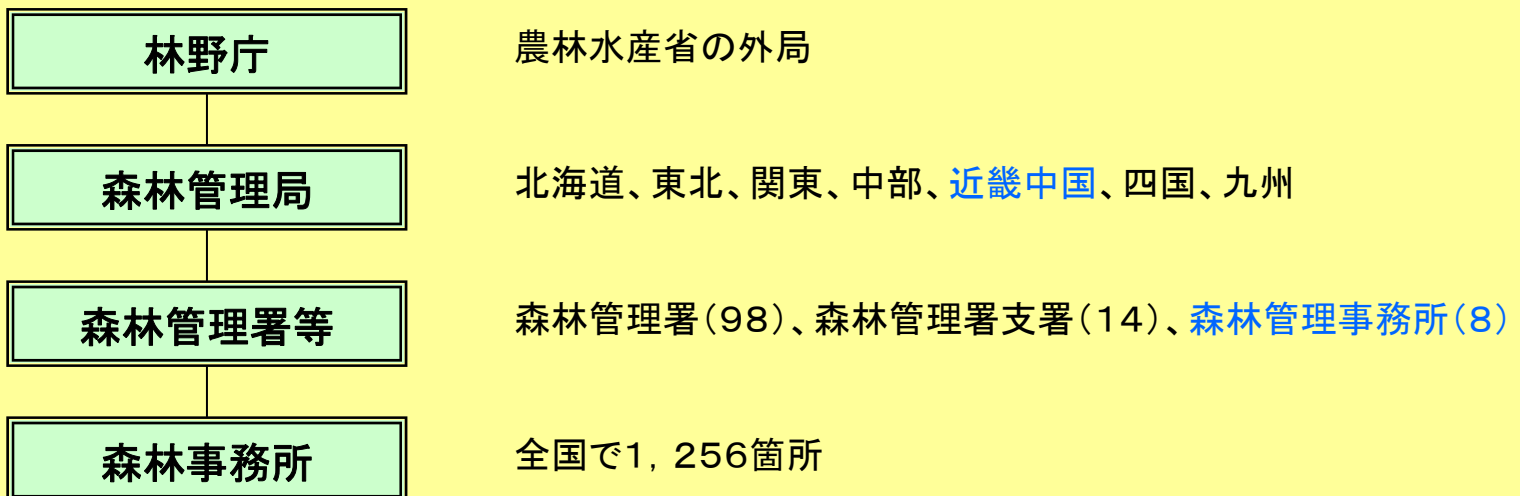
- 日本の国土の約2/3が森林。
- 日本の森林の約1/3が国有林。
- 国有林は日本の国土の約2割。
- 国有林は地域によって偏在。  
(北海道:37%～近畿:3%)

	面積	割合
国土面積	3,700万ha	100%
うち森林	2,500万ha	67%
うち国有林	760万ha	21%



# 1. 国有林について

- 国有林は、明治維新により、幕藩有林、社寺林、村持入会林を編入したことにより成立。
- 現在では、林野庁が国営企業（国有林野事業特別会計）として、国有林を一元的に管理経営。
- 林野庁本庁の下に、地方ブロック組織として7箇所の森林管理局を設置。その下に設置された森林管理署等が現場での管理経営を実施。





## 2. 京都大阪森林管理事務所について

- 京都市内には約1,400haの国有林が所在。
- 東山には、清水寺、八坂神社、知恩院、南禅寺、銀閣寺などの背後に高台寺山国有林、南禅寺山国有林、銀閣寺山国有林などが所在。
- 北山には、貴船神社、鞍馬寺の背後に、鞍馬山国有林、貴船山国有林が所在。
- 西山には、天龍寺、苔寺の背後に、嵐山国有林、松尾山国有林などが所在。
- 京都市内に所在する国有林の多くは、明治初期の「社寺上知令」により国有林に編入された旧社寺領。





### 3. 長刀坂国有林について

#### (概要)

- 林班名:長刀坂国有林35林班
- 面積:14.61ha
- 法令制限:風致保安林、歴史的風土特別保存地区(古都保存法)、風致地区(都市計画法)
- 機能類型:森林と人との共生林(森林空間利用タイプ)、「世界文化遺産貢献の森林」(風致の保全ゾーン)、「ふれあいの森」に指定

#### (特徴)

- 嵯峨野における広沢池からの景観の構成要素
- 後宇多天皇陵の背景林
- かつて、マツタケ生産試験を実施



### 3. 長刀坂国有林について

#### (林況)

- かつては、周辺住民の集約的な燃材利用により、尾根上を中心に、アカマツ林が広がっていたものと推定される。
- 近代における森林の利用形態の変化により、土壌が肥沃化して、アカマツの成育に適さない環境が形成。また、松枯れ被害の拡大により、アカマツに壊滅的な打撃。
- 現在では、生き残ったアカマツの間に、ツツジやソヨゴが侵入。全域で広葉樹林化が進展。

#### (今後の取扱)

- 嵯峨野周辺における風致保全のため、尾根上を中心に、広葉樹の除伐や地掻きなどにより、アカマツ林の再生に取り組む。

※除伐：目的樹種の成育の阻害となる小径木を除去すること

地掻き：アカマツの更新に適した環境を形成するため、落葉や表土を剥ぎ取ること





林内の様子



林内の様子



アカマツの稚樹



アカマツの立木



## 4. 「長刀坂モデルフォレスト」の設定

- 平成21年4月に長刀坂国有林を「ふれあいの森」に設定。当所と(社)京都モデルフォレスト協会が協定を締結。
- (社)京都モデルフォレスト協会は、オムロン(株)、オムロン労働組合並びに京都府と「森林の利用保全に関する協定」を締結。
- 四者の連携により、「長刀坂モデルフォレスト」において、アカマツ林再生や野鳥の森づくり、歩道づくりに取組。

※ 「ふれあいの森」: ボランティア団体等による自主的な森林づくり活動のフィールドとして設定した国有林



協定締結式(4月21日)の様様

(左から山田知事、柏原理事長、立石会長、東影委員長、朝比奈局長)

## 国有林保全で協定

府とモデルフォレスト協など調印

**上京** 京都府と京都モデルフォレスト協会、オムロンなどは21日、京都市上京区の府公館で、右京区の国有林の利用保全に関する協定の調印式を行った＝写真。オムロンの社員らが森林管理に取り組む。

産学公と地域住民が連携して府内



の森林を守る活動で、同協会の協力企業などとの協定締結は23件目。国有林を対象とするのは初めてで、同協会が所管する近畿中国森林管理局から保全活動の実施主体に選ばれ、取り組むことにした。

対象地域は、北嵯峨の長刀坂国有林約15㍍。マツクイムシなどの被害が出ているアカマツ林を再生するため、広葉樹の伐採や落ち葉拾いなどを行うほか、歩道づくりや自然体験会の開催などを計画している。

(猪口健司)

右京区の長刀坂国有林を守ろうと、オムロン(下京区)や森林の育成活動をしている社団法人「京都モデルフォレスト協会」など5団体が21日、森林保全活動に関する協定を結んだ。同協会によると、府内の国有林を対象にした協定は初という。

対象の森林は約15㍍。「長刀坂」は同社の社名の由来となった御室を流れる鳴滝川の上流にある。協定では、アカマツ林再生や野鳥の森づく

右京・長刀坂国有林保護へ

## 5団体が協定

りのために広葉樹を伐採したり、環境学習を行うとしている。

上京区であった調印式には、山田啓二知事ら5団体の代表者が出席。同社の立石義雄会長は「本社にとって大変象徴的な場所。環境への意識を高め、循環型社会の実現につなげたい」と表明。同協会理事長の柏原康夫・京都銀行頭取は「活動を全国に広げていきたい」と話した。

【小川信】

## 4. 「長刀坂モデルフォレスト」の設定





# 「長刀坂国有林でアカマツ林の育成を」(平成20年12月13日)の様様





